

10年産 米戦略

従来、青森県産米は通年での安定供給とブランド産地よりも値ごろな点を武器に、家庭向けに「つがるロマン」を、外食や中食などの業務向けに「まっしぐら」を販売してきた。しかし最近ではブランド産地の米の価格も下がり、県産米との価格差が縮まっている。2009年産はその傾向が強かった。青森県産を使っていた外食チェーンが「コシヒカリ」に切り替え、それを売りにするなど、青森県産が得意とした市場に他県産が流入し競合した。戸別所得補償への農政の転

秋のPRで魅力発信



JA全農あおもり
藤村義美本部長

12月4日に東北新幹線が新青森まで開通する。観光客も増えるだろう。来県者に県産米の良さを知ってもらい購入につなげるには、沿線を中心に県内の直売施設や観光地などの店舗、外食、中食産業に県産米を使ってもらうことが欠かせない。(聞き手＝野村拓志)

換を受け、米卸も価格情勢を見極めようと在庫を抑制する傾向が強まった。これらの要因もあり、09年産の県産米在庫は9月末に予想したところ、約2万5000トンの見込みだ。

県産の知名度向上へ

10年産の情勢も好転しないだろう。青森県は概算金を8000円台まで下げたが、他県の概算金も予想以上に下がり、価格競争は一段と厳しくなる。米は従来より秋のPRに力を入れている。今後は米を

を入れ、青森県産米の魅力を見極めようと在庫を抑制する傾向が強まった。これらの要因もあり、09年産の県産米在庫は9月末に予想したところ、約2万5000トンの見込みだ。

らったり、説明したりすることで「おいしく、値ごろ感をもったまま来年の新米まで安定供給できる」という県産米の魅力を伝え、「つがるロマン」「まっしぐら」の知名度を一段と上げて購買につなげたい。

県内の需要確保も重要だ。09年度に県内のパールライス事業を県本部に移管したこともあり、県内の業務用、家庭用への売り込みを進めたい。

東北

情報提供
購読申し込みは

東北支所

〒980-0011
仙台市青葉区上杉
1-2-16
☎022 (264) 8680
ファクス
022 (264) 0951

岩手駐在

〒020-0022
盛岡市大通1-2
-1
☎019 (654) 7727
ファクス
019 (623) 6117

中央会

青森中央会
☎017 (729) 8780
岩手県中央会
☎019 (626) 8528
秋田中央会
☎018 (864) 2141
宮城中央会
☎022 (264) 8245
山形中央会
☎023 (634) 8121
福島中央会
☎024 (554) 3071

通信部